

働き方改革推進課の取組について

令和8年1月30日（金）

県教育庁働き方改革推進課
働き方改革班

【本日の流れ】

1.学校における働き方改革は、

- どこを目指すのか？
- なぜ、推進するのか？
- どのように、推進するのか？

2.これまでの取組と今後の取組について

■ 学校における働き方改革は、どこを目指すのか？



「学校における働き方改革」の目指すべき方向性

教職員のこれまでの働き方を見直し、長時間勤務の改善を図ることで教職員の健康を守ることはもとより、日々の生活の質や教職人生を豊かにするなど、教職員のウェルビーイングを確保するとともに、自らの人間性や創造性を高め、子供たちに対してより良い教育を行うことができるようにすることです。

子どもたちへのより良い教育を行う



学習指導要領

令和の日本型学校教育

■ 学校における働き方改革は、どこを目指すのか？

子どもたちへのより良い教育を行う

教職員に時間と機会の創出が必要

- ✓ 職場での良好な人間関係
- ✓ 児童生徒との信頼関係
- ✓ 安全・快適な職場環境の形成
- ✓ ゆとりある時間
- ✓ 研修や教材研究等の充実
- ✓ 長時間勤務の改善
- ・・・ 等々

★ 教職員が忙しすぎることは、子供たちのためにならない



学校における働き方改革の推進が必要不可欠

学校における働き方改革は、どこを目指すのか？

★ 学校における働き方改革推進により時間と機会が創出 👉 子供たちへのより良い教育（令和の日本型学校教育）の実現

学校における働き方改革の実現による沖縄県の未来像



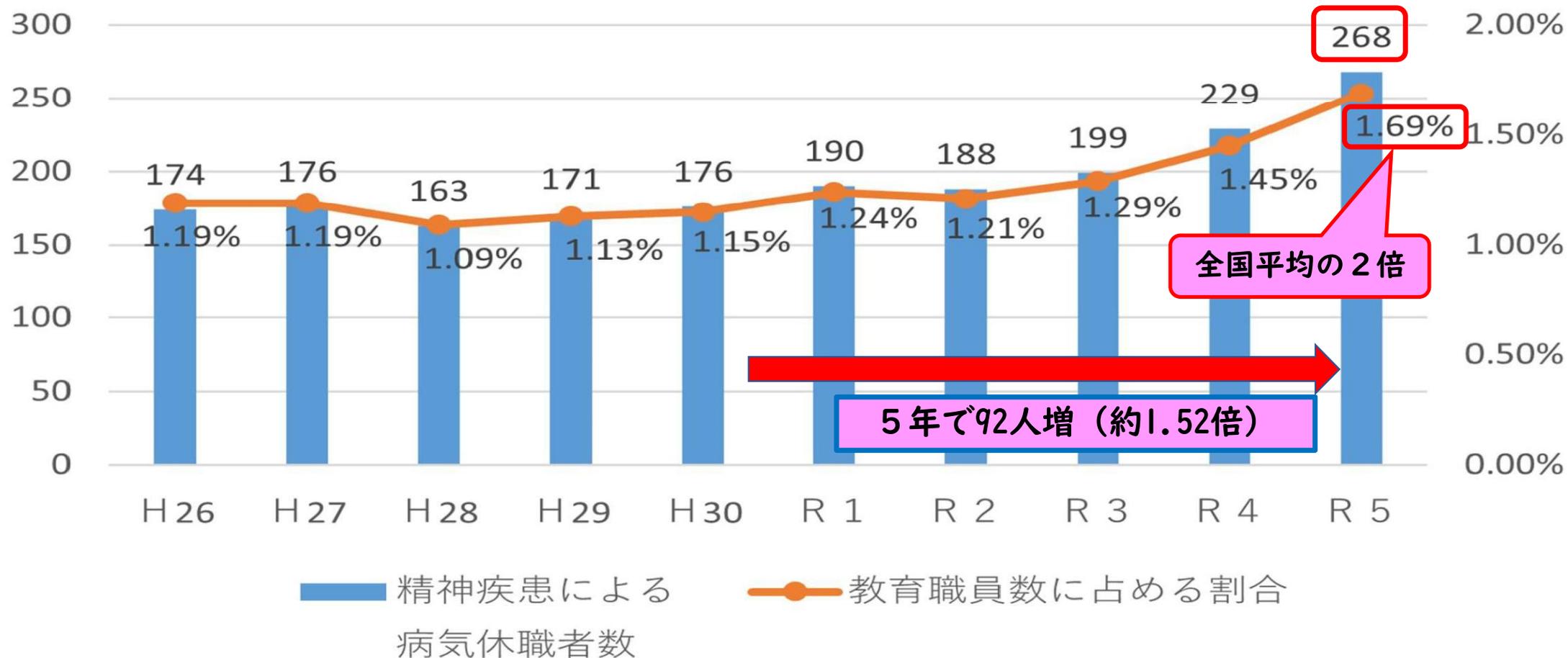
- ◆ 誰一人取り残さない社会 (Inclusive society for all)
- ◆ 持続可能な沖縄発展 (Sustainable Okinawa development)



■ なぜ、推進するのか？

沖縄県の教育現場の状況（現在）

<沖縄県の精神疾患による病気休職者数と教育職員に占める割合の推移>



学校からの声 本県の現状『学校における働き方改革アンケート(2023)』より



小学校教諭

念願の教員になり、その仕事は素晴らしいです。子どもに関わることができて幸せです。しかし、**仕事が多すぎて、なかなか定時に帰れません。**誰も教材研究を無くしてほしいとはいいません。教師として、子どもたちに本当に必要なものを知っているからです。後輩達にもその素晴らしさを伝えられるよう、早急な業務内容の精選をお願いしたいです。

教師という職業にしかない魅力は多く、素晴らしい職業だと思っています。しかし、その**魅力を上回るほどの負担**があるように感じています。少しでも多くの業務が改善され、先生方の負担が軽くなり、生徒と向き合い関わる時間が増えることを望んでいます。



中学校教諭



高等学校教諭

教職員の本来の業務は授業や生徒の育成であるはずなのに、**それ以外の業務の量が多すぎて授業準備・改善に集中できません。**1人当たりの業務量を減らすために業務の大幅削減などが早急に必要と感じています。

教員の働き方改革は、生徒の学習と切れない問題だと思っています。生徒の多様な学びを保障するためには教員の多忙が改善されなければ難しい。人員の増、専門家の活用、地域との連携、どれをとってもお金をかけずに、**善意に頼っている間は解決は難しい**のではないのでしょうか。



特別支援学校
管理職

【働き方改革推進課】

（令和5年度4月設置）

< 特命 >

☆ 健康管理班



教職員のメンタルヘルス対策の充実

☆ 働き方改革班



学校における働き方改革の推進

子供たちのために、教職員が“働きやすく”、
“働きがい”を感じることでできる教育環境の整備！

どのように、推進するのか？

全体版

沖縄県公立学校における働き方改革推進計画

みんなの学校!ピースフル・プラン

～ 子供たちの未来を創る持続可能な学校を目指して ～

集中取組期間：令和6～8年度



令和6（2024）年3月
 沖縄県教育委員会

 ～「学校における働き方改革」の取組目標～

『私たちのピース・リスト 2023』

ここに示した一フーフの取組目標は、私たちの描く「学校における働き方改革」の“ワン・ピース”（一部分・一欠片）でしかありません。

児童生徒の成長や発達を支援する教職員が“働きやすさ”“働きがい”“心身の健康”を十分に実感できる学校（職場）づくりに向けて、関係者一人一人がこれらを自分事として受け止め、その役割と責任の下、各々の取組を着実に進めることで「学校における働き方改革」は描かれていきます。

各市町村や各学校でもそれぞれの“ワン・ピース”を集めて、関係者で共有し、それぞれが目指す「学校における働き方改革」を描いていきましょう！

令和6（2024）年3月
 沖縄県教育委員会

県公立学校における働き方改革推進計画の着実な推進

■ どのように、推進するのか？

◆ 時間と機会を創出するためには？

II 目標達成に向けた取組

教職員が「働きやすさ」「働きがい」「心身の健康」を十分に実感できるためには、「時間と機会を創出する」ことが必要である。

“時間と機会を創出する”ための柱

- ✓ 人材の確保
- ✓ 教育DXの推進
- ✓ 業務の役割分担・適正化

EFFORTS

具体的取組

『私たちのピース・リスト2023』に取り組むこと

児童生徒の成長や発達を支援する教職員が“働きやすさ”“働きがい”“心身の健康”を十分に実感できる学校づくりに向けて、関係者一人一人が各取組事項を自分事として受け止め、その役割と責任の下、各々の取組を着実に進める必要があります。

 『私たちのピース・リスト2023』
を活用し、自分事として取り組む

どのように、推進するのか？

◆ 取組期間は？

Ⅲ 取組期間

TERM

スケジュール	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
本プラン	集中取組期間(3年)		
	初年度評価・検証	中間年度評価・検証	最終年度評価・検証

【文部科学省】 第4期教育振興基本計画

【基本施策】 学校における働き方改革、処遇改善、指導・運営体制の充実の一体的推進

これら一連の施策を安定的な財源を確保しつつ、**令和6年度から3年間を集中改革期間**とし、スピード感を持って、令和6年度から小学校高学年の教科担任制の強化や教員業務支援員の小・中学校への配置拡大を速やかに進めるとともに、令和6年度中の給特法改正案の国会提出を検討するなど、少子化が進展する中で、複雑化・多様化する課題に適切に対応するため、計画的・段階的に進める。

★ 中央教育審議会初等中等教育分科会質の高い教師の確保特別部会 報告（令和6年5月13日）

👉 「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（審議のまとめ）

■ 初年度（令和6年度）の具体的取組

ワーキング・チーム名	● 令和6年度の主な取組
WT 1 メンタル・ヘルス対策	✓ 「教員のメンタルヘルス対策に関する調査研究事業」（文部科学省）の推進 ✓ 復職支援の充実
WT 2 部活動の負担軽減	✓ 「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」（文部科学省）の推進 ✓ 「ブカツ・サポート・コンソーシアム」連携協定
WT 3 教育DXの着実な推進	✓ 校務DXの推進 ☞ 高校入試のWEB出願の実施 市町村教委育委員会情報担当者小部会の開催
WT 4 学校問題解決支援体制の構築	✓ 「行政による学校問題解決のための支援体制の構築に向けたモデル事業」（文部科学省）の推進 ✓ 沖縄県教育庁・警察本部等連絡協議会の実施
WT 5 学校・家庭・地域との連携分担	✓ 社会教育関係14団体との意見交換会の実施 ✓ 学校・家庭・地域の連携協力推進事業研修会の実施
WT 6 教育の質の向上を図る環境整備	✓ 人材確保に向けた取り組みの推進 ☞ 教員選考試験における大学等から推薦のあった現役学生の志願者を対象に第1次試験一部免除

令和7年度の具体的取組

ワーキング・チーム名

● 令和7年度の主な取組 16項目

「ピース・リスト2023」

WT 1	メンタルヘルス 対策	<input type="checkbox"/> 長時間勤務の改善に向けた具体的な取組の検討 <input type="checkbox"/> 「教員のメンタルヘルス対策に関する調査研究事業」(文部科学省)の横展開について <input type="checkbox"/> 復職支援プログラムの推進について	短期：14, 28 中期：8, 10, 11
WT 2	部活動の 負担軽減	<input type="checkbox"/> 部活動等の在り方に関する方針(改定版)の活用に向けた取組について <input type="checkbox"/> 「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」の推進について	短期：36, 50 中期：3, 37
WT 3	教育DXの 着実な推進	<input type="checkbox"/> 「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」(文部科学省)の取組が十分でない項目の改善方法を検討(校務支援システムの構築含む) <input type="checkbox"/> ICTを活用した研修体制の構築について	短期：15, 16, 32, 17 中期：5, 21
WT 4	校務処理の 負担軽減	<input type="checkbox"/> 学校へのコンクール等の募集の周知方法の改善について <input type="checkbox"/> 学校徴収金の徴収方法について <input type="checkbox"/> 高校入試の電子申請に係る取組について	短期：18 中期：19, 20, 22, 23
WT 5	課題解決に向けた 学校・家庭・地域 との連携・協働	<input type="checkbox"/> 行政による学校問題解決のための支援体制の構築について <input type="checkbox"/> スクール・ロイヤーの効果的な活用について <input type="checkbox"/> CSと地域学校協働活動の一体化に向けた推進について	短期：31, 33, 44, 46 中期：2, 13, 34, 35 長期：38
WT 6	教育の質の向上 を図る環境整備	<input type="checkbox"/> 小学校における専科指導担当教師等の配置拡充(教育課程・校務分掌の工夫含む) <input type="checkbox"/> 教員のなり手の確保に向けた取組について <input type="checkbox"/> 働き方改革に関する管理職の育成指標について(研修等の改善含む)	短期：24, 29, 30 中期：1, 4, 6, 12, 25 長期：7